

CLUSTERPRO

MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux

パトロールシーク機能リリースメモ

© 2017(Apr) NEC Corporation

- ライセンス
- パッケージのインストール
- セットアップ
- マニュアル
- 注意・制限事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux (以後 RootDiskMonitor と記載します)のパトロールシーク機能の動作に必要な手順について記載したものです。

(1) 商標および商標登録

- ✓ Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標または商標です。
- ✓ Oracle は、Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における、商標または登録商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. ライセンス	1
1.1. コードワードの取得と登録	1
1.2. コードワードの登録	1
2. パッケージのインストール	2
2.1. 動作環境	2
2.2. 使用パーティションおよび必要容量	2
2.3. 依存パッケージ	3
2.4. ソフトウェアパッケージのインストール	4
2.5. ソフトウェアパッケージのアンインストール	5
3. セットアップ	6
4. マニュアル	6
5. 注意・制限事項	6

1. ライセンス

1.1. コードワードの取得と登録

本製品を動作させるためには、あらかじめロック解除のためのコードワードを取得する必要があります。

製品添付の「コードワードについて」の手順にしたがって、コードワードを取得してください。

1.2. コードワードの登録

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」および製品添付の「コードワード登録手順」の手順にしたがって本製品をインストールするマシンに、取得したコードワードを登録してください。

[手順の概要]

1. ライセンスツールのインストール
ライセンスツールをインストールします。
既にインストール済みの場合、本手順は不要です。
ライセンスツールは製品媒体の/Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。
2. コードワード登録ファイルの作成
コードワード登録ファイルを作成します。
既にファイルを作成済みの場合、本手順は不要です。
3. コードワードの登録
コードワード登録ファイルに取得したコードワードを登録します。
記述ミスなどがないように正確に記述してください。
4. コードワードの確認
コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。
(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4441-402
license OK
「license OK」と表示されることを確認してください。

2. パッケージのインストール

2.1. 動作環境

パトロールシークは以下の OS での動作を保証しています。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- Red Hat Enterprise Linux 6.0~6.8
- Red Hat Enterprise Linux 7.0~7.3
- Oracle Linux 6.2~6.8
- Oracle Linux 7.0~7.3

HW 構成の条件は以下のとおりです。

- x86 および x86_64 搭載サーバー

2.2. 使用パーティションおよび必要容量

パトロールシークで使用するパーティションと必要なディスク容量は以下のとおりです。

ご使用の前にお確かめください。

使用パーティション	必要容量
/opt	約 1M バイト

ログファイルの領域が /opt 下に別途必要となります

2.3. 依存パッケージ

- sg3_utils

パトロールシークは内部で以下のパッケージを利用します。

sg3_utils Utils for Linux's SCSI generic driver devices + raw devices

本パッケージがインストールされていない場合、事前にインストールしてください。

以下のコマンドでインストールの有無を確認できます。

```
# rpm -qa sg3_utils  
sg3_utils-w.x.y.z
```

※ インストールされていない場合、何も出力されません

注意:w, x, y, z には sg3_utils パッケージのバージョン番号が入ります。

本パッケージは標準で OS インストール媒体中に含まれます。

- glibc (32bit 互換ライブラリ)

Red Hat Enterprise Linux 7.x と 6.x (64bit) または Oracle Linux 7.x と 6.x (64bit) のシステムに本製品をインストールする場合、事前に互換ライブラリ(glibc-x.y.z.i686.rpm)がインストールされている必要があります。

互換ライブラリがインストールされていない場合、事前にインストールしてください。

以下のコマンドでインストールの有無を確認できます。

```
# rpm -qa glibc  
:  
glibc-x.y.z.i686
```

※ インストールされていない場合、"glibc-x.y.z.i686" の行が出力されません。

注意:x, y, z には互換ライブラリのバージョン番号が入ります。

本パッケージは標準で OS インストール媒体中に含まれます。

2.4. ソフトウェアパッケージのインストール

1. 本製品の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD) 装置に挿入してください。

2. mount コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。

(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD) 装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. rpm コマンドにより、パトロールシークのパッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh /mnt/cdrom/Linux/option/pseek/rpm/clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z.rpm
```

**注意:Red Hat Enterprise Linux 7.x と 6.x (64bit) または
Oracle Linux 7.x と 6.x (64bit) のシステムに本製品をインストールする場合、
事前に互換ライブラリ (glibc-x-y.z.i686.rpm)がインストールされている
必要があります。**

4. rpm コマンドにより、パトロールシークが正しくインストールされた
ことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-mdmpseek  
clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z
```

5. マウントした媒体を umount コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD) 装置から取り出します。

以上で パトロールシークのインストールは終了です。

2.5. ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. パトロールシークの監視を停止させます。

監視の停止方法については『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』を参照してください。

2. rpm コマンドを使用してアンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z
```

3. アンインストール時に以下のエラーが出力された場合、cron から mdmpseek エントリを手動で削除します。

```
WARNING: Internal error(crontab updating failure).
```

① cron 設定の確認

```
# crontab -l
48 14 * * * /opt/HA/MDMPSEEK/bin/mdmpseek
```

② cron 設定の削除

```
# crontab -e
48 14 * * * /opt/HA/MDMPSEEK/bin/mdmpseek ← この行を削除します
```

3. セットアップ

パトロールシークを使用するためには、設定ファイル・セットアップ作業を行う必要があります。これらの手順については、媒体添付の『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』をご覧ください。

4. マニュアル

パトロールシークのマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド	/Linux/option/pseek/manual/ Linux_MDMPSSEEK_users.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からもアクセスできます。

PDF ファイルを参照できるソフトウェアを使ってマニュアルをご覧ください。

5. 注意・制限事項

本リリースでの補足事項・注意事項については、『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』をご覧ください。

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.2 for Linux
パトロールシーク機能リリースメモ

2017年4月第3版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2017

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙